

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和4年3月22日(火) 10時30分から11時30分まで	開催場所	会議室(オンライン)
出席委員	人数：6人 委員氏名(役職) 森下 秀月氏(大崎上島町商工会事務局長) 坪谷ニューエル郁子氏(東京インターナショナルスクール理事長) 改発 祐一郎氏(東京都立国際高等学校市民講師) 草原 和博氏(広島大学大学院教育学研究科教授) 中谷 哲士氏(PTA会長) 福嶋 一彦(校長) 高田 幸典氏(大崎上島町長) ※欠席		
会議の概要	<p>○令和3年度自己評価シート(年度末評価)に基づく取組の説明                  本校から、学校経営計画の項目に従い、国際バカロレア、主体的・対話的で深い学び、寮生活など、令和3年度の下半期の取組について説明を行った。</p> <p>○各委員からの発言(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度から入学する外国人留学生のサポート体制については、どのように考えているか。                      →本校生徒とのバディシステムや、宗教に関する専門知識を有する教職員の採用、叡啓大学及び広島大学との連携など、様々な方法で外国人留学生をサポートできるよう準備を進めている。</li> </ul> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校のミッション・ビジョン等が生徒・教職員に浸透してきた様子がわかる。次の段階として、保護者や地域の方々を巻き込む取組を期待している。また、DPでCASの開始に先立って、CASの要素を取り入れた寮の課外活動を行うなどの準備を進めるとよい。例えば、大崎上島町の豊かな環境を活用し、農業や漁業などの就業体験や、収穫した食材を利用した食堂運営などの活動が考えられる。</li> <li>地元の商工会としても、地域の農業・漁業でのインターンシップをぜひ行っていただきたい。</li> <li>今年度はPTA主催で親授業を実施できた。来年度以降も継続したい。</li> <li>自主的で自治的な活動が充実してきた様子が分かる。また、学校と地域との関係も深まっている印象を受ける。IDUの授業を参観した際にも、素晴らしい合科の授業を行っていると感じた。初年度から未来創造科で取り組む平和をテーマとする学習の成果を含めて、本校の特色ある取組を、広島県内の各校にも広く伝えていただきたい。また、食品ロスの問題への取組については、以前から本校では熱心に取り組んできたことではあるが、寮生活や食生活だけにとどまらず、学校生活とも結びつけて解決策を模索していくことを検討していただきたい。</li> <li>外国人留学生が日常生活を送る上で知っておくべき日本語及び日本文化を習得できるように、学校開始前に特別なプログラムを実施するとよい。</li> </ul> <p>以上、委員から貴重な御意見等をいただいた。</p> <p>本校として、これらの御意見等を次年度の学校運営に活かしていく所存である。</p> <p>○三つの方針(スクールポリシー)                  三つの方針について説明し、全会異議なしにより承認された。</p>		
次回開催予定日	令和4年7月初旬		

※ 「概要」欄については、協議の経緯は簡潔にし、協議の結果が分かるように記載すること。